

次世代学校支援モデル構築事業  
(文部科学省)  
スマートスクール・プラットフォーム実証事業  
(総務省)

平成29年11月21日  
大阪市教育委員会事務局

# 目次

1. これまでの取り組み
2. 取り組み施策と期待する効果
3. 実証校の課題・ニーズ【一部抜粋】
4. 地域実証の概要
5. データ詳細
6. セキュリティ確保策
7. 実証事業のスケジュール（今年度）
8. 実証事業のスケジュール（3カ年度）
9. 実証事業成果を踏まえた次世代学校支援イメージ



# エビデンスに基づく学級・学校経営の一例（統合校務支援ICT活用事業）

## ■ 校務支援ICT活用事業の取り組みと更なる教育の質の向上に向けた施策

これまで、子どもと向き合う時間の確保のために、**校務支援ICT活用事業を通じ、業務効率化を実現**してきた。

さらに今後は、学校教育ICT基盤に蓄積されつつある学習記録データを活用し、**エビデンスに基づく学級・学校経営を加速させ**、学校教育の質の向上を図る。

## ■ 統合校務支援ICT活用事業の成果



## 2. 取り組み施策と期待する効果

### ■ 本実証事業で取り組む内容

事業計画の策定にあたり、学校に対して**合計47回の「データ活用に対する期待や要望」のヒアリング**を行い、**113の要望**が上がった。システムが定着しデータ活用による新しい取り組みへの姿勢が醸成されていることを把握した。本実証のテーマとして以下の3点を設定した。

| I. 学力・体力の向上                              | II. 安全・安心な学校   | III. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                            |
|--|--|--|
| 学習サイクルの定量評価やその結果に基づく教員の行動変革を通じて学力向上を実現する | 授業満足度や日々の充実度と校務系データを組み合わせ、教員の即時対応力の向上および個別指導の強化を実現する | 校務系、学習系、行政系データを合わせ、学校の現況や所属教職員の把握など管理職の学校経営深化を実現する |

### ■ 本実証事業で期待する効果

**学校に新しい価値を提供**し、教員や管理職の利便性を高めることで効果普及を図る。ダッシュボードでは、児童生徒、先生、管理職のそれぞれにとって**有益なデータ（エビデンス）の見える化を実現し学校・学級経営の深化**を図る。

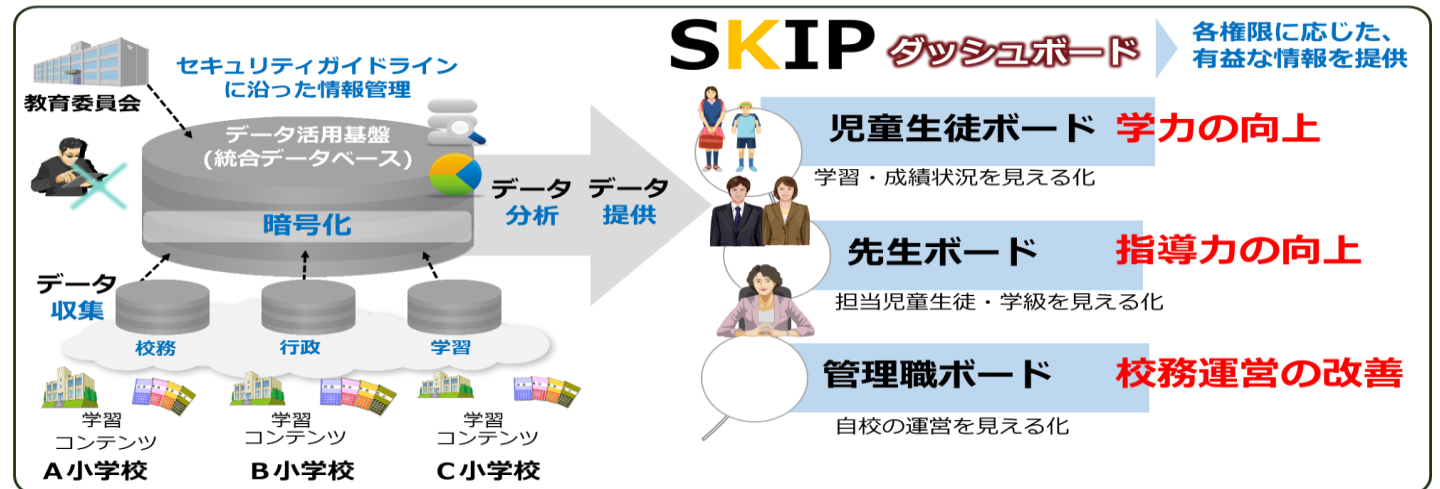
#### 新しい価値

校務/学習/行政系データを組み合わせた  
**ダッシュボード**

**学習系Webシステムの新規導入**

小学校：やるKey  
中学校：ABC

#### ■ ダッシュボードのイメージ



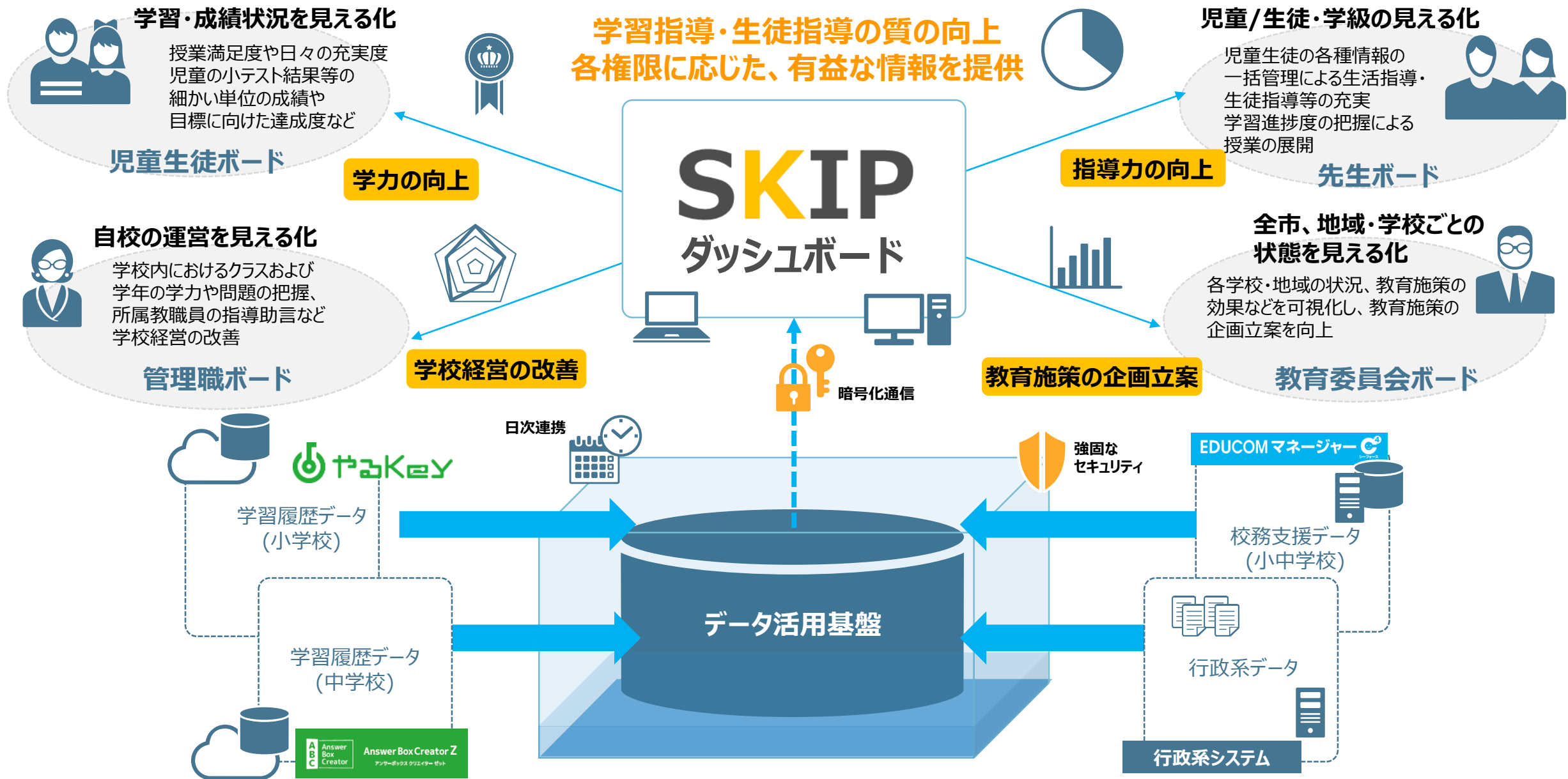
### 3. 実証事業 課題・ニーズ【一部抜粋】(1)

| 項  | 学校現場からの要望一覧  | 抽出したテーマ                              |
|----|--|--------------------------------------|
| 12 | 超過勤務（月100時間未満、3ヵ月平均80時間未満などの目安がある）、勤怠管理、休暇残日数が見れるとよい。  | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |
| 22 | 先生の頭の中にルーツに関する情報を持っていて共有はできていなかった。今は紙ベースで残そうとしているがデータで見れるとよい。  | Ⅱ. 安全・安心な学校                          |
| 24 | 必要な事項が職員室と保健室で共有されればよい。  | Ⅱ. 安全・安心な学校                          |
| 25 | 授業の振り返りで各生徒の理解度などがデータとしてあれば、すぐに次の学習指導に活かせる。すでに振り返りは実験的に実施している。授業の終わりにアンケートを取るが今は紙ベースで集計が手間。                    | Ⅰ. 学力・体力の向上                          |
| 26 | 自分の授業がどうだったのかという情報は知りたい。授業が楽しかったか、楽しくなかったか、今日一番楽しかった授業はどの授業だったか等を終わりの会で振り返ってもらい、先生が把握できるとよい。                   | Ⅰ. 学力・体力の向上                          |
| 27 | 一部の児童としか授業ができていないことがあるので授業理解度がわかるとよい。  | Ⅰ. 学力・体力の向上                          |
| 32 | 学力や生活指導等のデータがあると便利。現行は冊子を金庫保管して難しい生徒を重点的に引継ぎしている。特に保護者対応を引き継いで置かないと（保護者と学校の）ボタンのかけ違いが起こる                       | Ⅱ. 安全・安心な学校                          |
| 34 | 保健カルテの身長や体重情報から家庭背景が見えてくることもある。  | Ⅱ. 安全・安心な学校                          |
| 36 | 日本語が十分でない児童の情報を担任だけでなく日本語教師と共有できるとよい。  | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |
| 41 | 校長が赴任してすぐにほしい情報は学校運営計画、校長戦略予算、地域情報(議員情報等)、職員の評価情報、児童の生活指導の履歴。  | Ⅱ. 安全・安心な学校                          |
| 44 | 教員の研修履歴、ライセンス取得歴等の情報が見られるとよい。校長はその学校での赴任年数が教員よりも短いことが多いので、教職員の人事考課や研修履歴や異動歴などもあれば参考になる                         | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |
| 45 | 先生ごとの研究活動や研修歴もあるとよい。   | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |
| 47 | 教員においては出退勤、休暇などの勤態情報を見られると嬉しい。   | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |
| 49 | 赴任した時に学校のデータベースがあると嬉しい。学校ガイダンスのようなもので、例えば各教室をカメラで記録していて、この学校にはこんな教材が入っているとか、備品の在り処などがわかると便利。現在は口頭で簡単に引き継がれるだけ。 | Ⅱ. 安全・安心な学校<br>Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案 |
| 51 | 光熱水費の状況なども学校能状態を知る手立てになる。  | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |

### 3. 実証事業 課題・ニーズ【一部抜粋】(2)

| 項   | 学校現場からの要望一覧  | 抽出したテーマ                              |
|-----|--|--------------------------------------|
| 61  | 先生がどのような学びをしてきたかがわからない。どの先生がどんな学びをしてきたか状況が見えるとよい。研修履歴が残るとよい。   | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |
| 67  | 学力把握においては児童のできているところ、つまづきポイントが見えると便利。今は印象だけで判断している。  | I. 学力・体力の向上                          |
| 73  | 保護者懇談会時に生徒の評価の裏付けデータとして使用できる   | Ⅱ. 安全・安心な学校                          |
| 74  | 個々のつまづきを知るためには誤答データも必要。  | I. 学力・体力の向上                          |
| 81  | 成長のポイントが見えれば生徒も先生も励みになる。経年で成長ポイントが見られるとよい  | I. 学力・体力の向上                          |
| 83  | 成績以外の生徒評価について、今は先生の感覚で保護者に話をしているが感覚は人によってズレがある   | Ⅱ. 安全・安心な学校                          |
| 85  | 児童生徒ボードで一学期の単元テスト成績がグラフ化できたら喜ぶ。  | I. 学力・体力の向上                          |
| 86  | 成績については「つまづきポイント」が分れば手当てできることがあるかもしれない。  | I. 学力・体力の向上                          |
| 88  | 個人面談(育成面談)結果も見たい。生活保護、給食費の未納状態、子ども相談所に関する情報も見られると嬉しい。  | Ⅱ. 安全・安心な学校<br>Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案 |
| 91  | 生徒ボードは懇談会のときに裏付けデータとして渡せるとよい。今は個人カルテをファイル保管しているので都度確認するのは手間。   | Ⅱ. 安全・安心な学校                          |
| 94  | 子供のIDごとにBOXのようなものがあって、そこにその生徒の全ての(いいところ見つけや成績なども)情報が入っていけばいいのと思う。  | Ⅱ. 安全・安心な学校                          |
| 103 | ここがダメという評価ではなく、「数学の授業力はダメだが、国語の授業力は高い。そのため夏休みに国語の授業を他の先生に見てもらって他の先生の授業力を上げよう。」といった人を育てることに繋がるデータをはき出し活用できるとよい。 | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |
| 104 | 初任期、各ライフステージに合わせて自己実現のサポートができるような仕組みがあるとよい。  | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |
| 105 | 授業力が高い先生のデータを取得して、一般化(横展開)していくのもよい   | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |
| 107 | 校長が把握している先生の授業力等の情報をすぐにはき出せるとよい  | Ⅲ. 学校経営を支援する教育施策の企画立案                |
| 112 | 生徒情報を見るときに生徒を主キーにして全ての情報をまとめて出せるようになると便利   | I. 学力・体力の向上<br>Ⅱ. 安全・安心な学校           |

# 4. 地域実証の概要 「学力・体力の向上」「安全・安心」「学校経営を支援する教育施策の企画立案」





## 5. データ詳細【一部抜粋】（1）

| システム         | データ種類       | データ項目  | データ活用のニーズ              |
|--------------|-------------|--|------------------------|
| 校務系          | 学籍情報        | 児童生徒氏名、児童生徒ID、学年、組、番号、担任（教科担任）、校長、教頭、市内転学がある場合、過年度ならびに以前在籍していた学校におけるこれらの情報 | A. 学力向上<br>D. 教員の指導力向上 |
|              | 成績情報        | 学力調査の回答、教科別正答率、観点別正答率、領域別正答率、問題別正答率、生活状況調査結果、素点、日常所見、観点別の評価、評定、行動の記録 等     | A. 学力向上<br>D. 教員の指導力向上 |
|              | 出欠情報        | 日時、時限、欠席理由   | B. 生活指導<br>D. 教員の指導力向上 |
|              | 指導計画        | 年間指導計画、週指導計画案、週指導実績  | D. 教員の指導力向上            |
|              | 保健室利用       | 日時、理由  | B. 生活指導<br>D. 教員の指導力向上 |
|              | 教職員情報       | 教職員氏名、教職員ID、担任情報   | D. 教員の指導力向上            |
|              | システム利用記録    | システム利用ログ、校務支援パソコン利用ログ、テレワーク利用ログ（利用者、利用時間、利用機能）                             | E. その他（教育施策の立案時の活用）    |
| 学習系①<br>学習系② | 単元（定期）テスト回答 | 単元ドリル、単元（定期）テストの回答、小テストの回答   | A. 学力向上<br>D. 教員の指導力向上 |
|              | 単元（定期）テスト回答 | 教科別正答率、観点別正答率、領域別正答率、問題別正答率、過年度ならびに以前在籍していた学校におけるこれらの情報                    | A. 学力向上<br>D. 教員の指導力向上 |
|              | 単元（定期）テスト回答 | 各校における年度ごとの学年別、クラス（授業クラス）別の単元（定期）テストの教科別正答率、観点別正答率、領域別正答率、問題別正答率           | A. 学力向上<br>D. 教員の指導力向上 |
| 学習系②         | 取組結果        | 学習目標、結果、つまずきポイント   | A. 学力向上<br>D. 教員の指導力向上 |

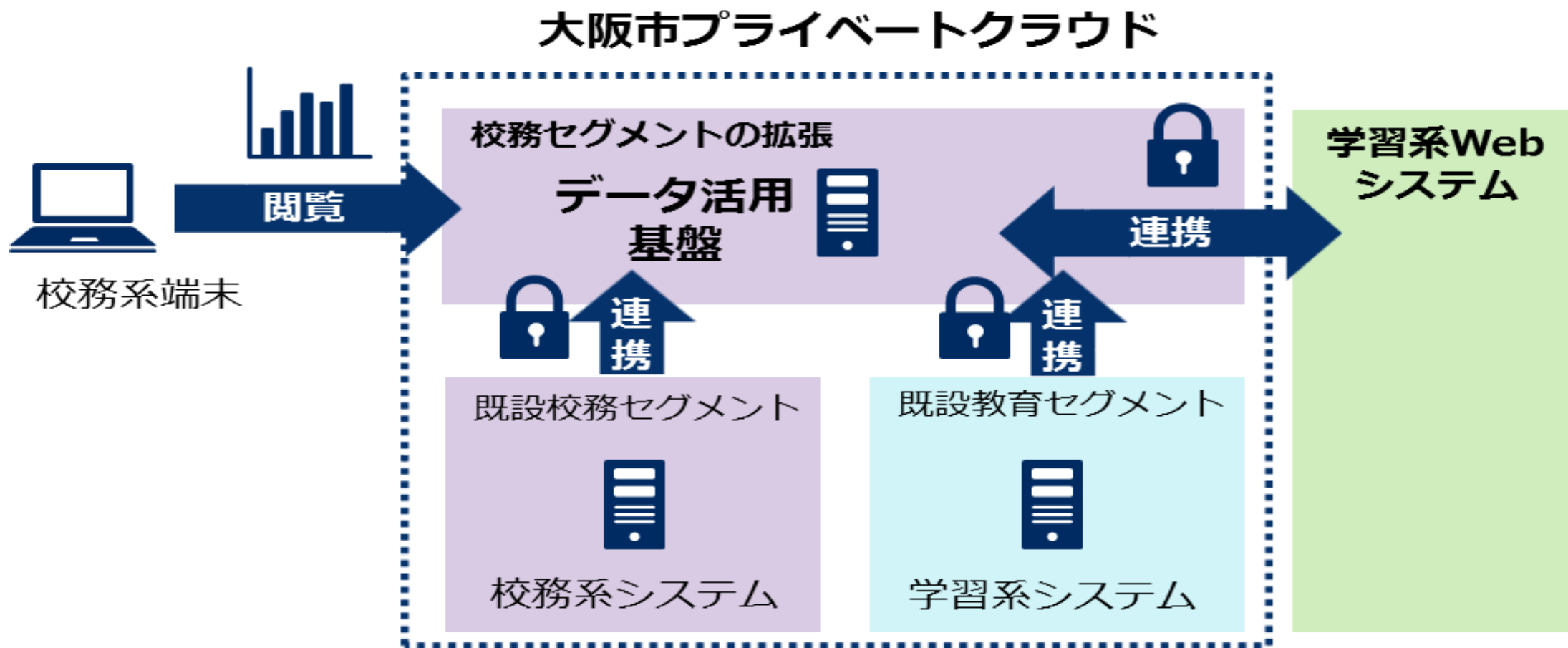
## 5. データ詳細【一部抜粋】（2）

| システム | データ種類                         | データ項目  | データ活用のニーズ                          |
|------|-------------------------------|--|------------------------------------|
| 行政系  | 就学援助                          | 対象児童生徒、就学援助種別  | D. 教員の指導力向上                        |
|      | 日々の状態                         | 日々の充実度（アンケート結果）  | B. 生活指導                            |
|      | 人事・給与・勤怠関係                    | 出退勤打刻時間、出張等不在内容、遅参・早退内容、年休取得状況、超過勤務時間、病気休暇等取得日数（病名含む）、兼職兼業内容、職務免除申請内容、研修履歴、異動履歴、目標管理 | E. その他（教育施策の立案時の活用）                |
|      | 学校の現状<br>（行事、取り組み、運用に関する情報）   | 学校沿革史、学校教育目標、学校運営に関する計画、校内研修や研究教科・領域について、地域連携・校庭キャンプの取組について、不在家庭児童数について 等            | E. その他（教育施策の立案時の活用）                |
|      | 学校の現状<br>（特別な授業・活動に関する情報）     | 習熟度別少人数授業に関する資料（実施要領等）、キャリア教育に関わる資料、防災・減災教育カリキュラム、学校独自の取り組みの資料（福祉体験・ボランティア活動等）       | D. 教員の指導力向上<br>E. その他（教育施策の立案時の活用） |
|      | 部活・指導関係                       | 部活動関係（顧問一覧・昨年度から現在までの主な実績、市大会以上の成績等）、進路関係・進路指導年間計画                                   | D. 教員の指導力向上                        |
|      | 就学予定者情報                       | 教職員に関する情報（加配の配置状況を含む）、区の子育て支援室が保有する児童及び就学前の子どもの情報                                    | B. 生活指導<br>D. 教員の指導力向上             |
|      | 特別支援に関する情報                    | 特別支援学級数（個別の指導計画・個別の教育支援計画）、支援員配置状況、日本語指導が必要な児童生徒数                                    | B. 生活指導<br>D. 教員の指導力向上             |
|      | 学力向上支援サポーター情報                 | 「学びサポーター」及び「理科補助員」配置校一覧  | D. 教員の指導力向上                        |
|      | 「学力経年実態調査」「大阪市英語力調査（英検IBA）」結果 | 大阪市全体、学校別の全中学校の調査結果  | A. 学力向上<br>D. 教員の指導力向上             |

## 6. セキュリティ確保策

システム的には扱う情報の重要度を考慮し、拡張した校務支援セグメントにシステムを設置することで、**高いセキュリティを担保**する。

また各セグメント間の**通信は暗号化することでセキュリティを担保**する。





## 8. 実証事業のスケジュール（3カ年度）

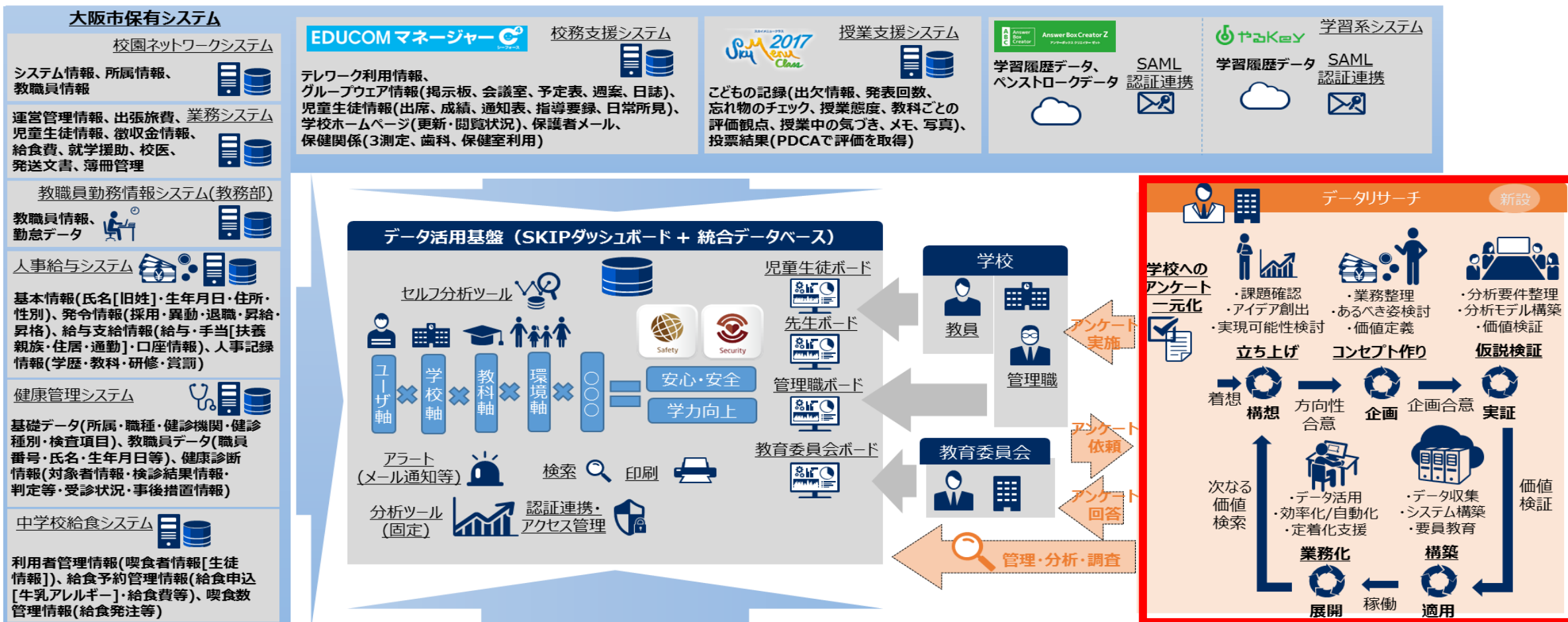
### ■ 3カ年度の概要スケジュール

本実証事業は平成29-31年度までの3カ年度で、年度単位に達成目標と実証内容を設定し、実証事業を効率的に推進する。



# 9. 実証事業成果を踏まえた次世代学校支援イメージ

多種多様なデータを教育行政全体に活用し、より高度な学校経営支援を推進する



- 大阪市保有データ**
- (指導部中学校教育担当) 学校概要、校務分掌一覧、習熟度別少人数授業、道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間、人権教育、食育、キャリア教育、防災・減災教育カリキュラム、授業時間割、通知表、評価規準、部活動関係、進路関係、進路指導計画、全校生徒名簿、校区小学校、入学状況、在籍推移、入学説明会情報、学校独自の取り組み
  - (指導部教育活動支援担当) 各種学力情報
  - (教育センター指導研究G) 全国学力・学習状況調査、小学校学力経年調査
  - (総務部学事課) 学校現況調査結果(学級数、児童生徒数)、学校校舎使用状況図
  - (指導部教育活動支援担当) 全国学力・学習状況調査結果、大阪市小学校学力経年調査、大阪市英語力調査結果、各種学力情報
  - (総務部教育政策課・担当)
  - (指導部初等教育担当) 校内研修、地域連携、不在家庭児童数、標準服・集団登校、放課後の生活、防災・減災教育、防犯・不審者対策、いじめ対策、児童虐待防止、交通安全、道徳教育、修学旅行、各学校の行事予定表、教材使用届、就学予定者情報